

## たんぽぽ・ひまわり合同学習指導案

令和元年11月26日(火) 5校時

場所 ひまわり学級

### 1. 単元名 たんひまカフェを開こう

### 2. 単元の目標（生活単元学習としての目標）（個人の目標省略）

- お客さんに喜んでもらえるようなお店になるよう進んで活動に取り組むことができる。
- 友達と協力して準備をしたり、お客さんとの関わりを楽しんだりすることができる。
- 手順に従って調理したり、自分の役割を果たしたりすることができる。

### 3. 基盤（児童観省略）

本単元は、2学級合同で行う「たんひまカフェを開こう」という学習である。児童たちはたんひまカフェを開いてお客さんに来ていただくという活動に向けて、相手意識を持ちながら意欲的に取り組めると考える。また、日常的に積極的に関わっている2学級が集団で取り組むことで、安心して活動できる雰囲気が得られると予想している。

本単元の指導にあたっては、単元の目標を達成するために、以下のような指導の工夫を考えた。

#### <場面の設定>

たんひまカフェを開くに当たって、どんな飲み物にするか、どんなお菓子にするのか、どこでするのかなどを話し合う場を設定することで、安心感のある中で自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりすることができる。また、たんひまカフェという疑似体験的な活動を設定することで、場面に応じたコミュニケーションの方法を考えたり、体験したりしながら、適切なやりとりをしようとする姿を期待する。カフェの場면을繰り返すことで、自分の言動を振り返りながら次の活動に生かせるようにしたい。

#### <アンケートの活用>

事前にアンケートで注文をとることで、お客さんとやりとりをする場を増やし、ここでも適切なコミュニケーションを学ぶ場面とする。また、事前に注文状況を把握することで、見通しをもって開店準備を行い、カフェ当日にできるだけ接客に集中させたい。

#### <振り返りの場の工夫>

調理や接客についてのルーブリックを児童とともに考えることで、順番を守ったり、丁寧な言葉で接客したりすることなどよりよい姿をイメージしやすいと考える。活動時にも目指す姿を意識しながら取り組めるようにしたい。また、活動後の振り返りでも活用することで、2回目・3回目の開店に向けて一人一人の目標を明確にしたい。接客の様子を動画（タブレット）で撮影しておき、客観的に振り返りをする手立てにしたい。

### ○ ひまわり

本単元は生活単元学習の「たんひまカフェを開こう」という学習である。児童は1学期の修学旅行前にお好み焼きを作って家族に食べてもらっている。七夕集会では1年生を、お月見集会では2年生を招待して季節の行事の集会を開いている。どの活動でも相手に楽しんでもらえるような集会を開くことを意識しながら取り組んできた。本単元でも、たんひまカフェのお客さんに喜んでもらえることを常に頭に置いてメニューや店づくりができるように支援していきたい。

本単元の指導にあたっては、単元の目標を達成するために、以下のような指導の工夫を考えた。

#### <交流の場の設定>

たんひまカフェは3回の開店を計画している。身近な家族や学校の教職員をお客さんとして招くことで相手意識をより明確に持ち、感謝の気持ちを込めながら喜んでもらえるお店作りができるよ

うに支援していきたい。さらに繰り返し活動することで自信をもって協力しながら取り組めるようにしていきたい。

#### <活動内容の工夫>

- ・単元の初めに実際に喫茶店に出かけ、接客を受けて学ぶ活動を行う。見てくるポイント（言葉、笑顔、置き方）を確認し、出かけた後に振り返ることで、たんひまカフェでの接客に生かすことをねらいとしている。
- ・たんひまカフェに向けてミシンを使ってエプロンを作成する。1学期にはミシンで雑巾を縫う活動に取り組んでいる。ミシンの扱いにさらに慣れるとともに、ものさし等で長さをはかりながら作成できるよう支援していきたい。
- ・算数でのお金の学習や生活単元学習での買い物体験、银杏の販売活動にも関連させ、金種の理解だけでなく、実際に金銭を扱えるようになることを目指して取り組んでいきたい。
- ・本単元の調理活動ではケーキ作りを設定した。今までに、ゼリーやお好み焼き、お月見団子などの調理に取り組んできている。調理に対して非常に意欲的であり進んで活動している。たんひまカフェに向けて調理を繰り返すことで、ケーキ作りの流れを理解し自信をもって活動できることを期待している。

#### <アンケートの活用>

アンケートを作成したりお客さんとの関わりの様子を動画で記録したりして、お客さんの感想をよりよいお店作りに生かすようにしたい。アンケートを集計しニーズをつかむことや、商品や接客についてのお客さんの意見を聞くことを通して、自分たちの取り組みをより客観的にとらえ、改善点をみんなで見つける活動につなげていきたい。

#### <振り返りの場の工夫>

調理や接客についてのルーブリックを児童とともに考えることで、活動時にも意識しながら取り組めるようにしたい。また、活動後の振り返りでも活用しながら2回目・3回目の開店に向けて生かしていきたい。

#### <お菓子の作り方の発表>

調理の順番や材料の分量を模造紙にまとめることを通して、回を重ねるごとに自信をもって主体的に調理に取り組めるようにしたい。さらに自分でまとめた模造紙を活用して作り方を発表する際には、相手に分かるような声の大きさや立つ位置について意識させたい。

#### 4. 単元計画（全23時間 本時22/23）

	学習内容
一次	○たんひまカフェについて考えよう（たんぼぼ・ひまわり 1時間） ・どんなお店にしたいか考えよう。 ・どんなメニューがいいか調べて考えよう。 ○接客の勉強をしよう（ひまわり 2時間） ・お店に行って、接客の様子を見て帰ろう。 ・接客のときの言葉や表情などを思い出してまとめよう。
二次	○メニューを決めよう（たんぼぼ・ひまわり 1時間） ・アンケートを作成しよう。
三次	○たんひまカフェの計画を立てよう（たんぼぼ・ひまわり 1時間） ・どんな仕事があるか考えよう。 仕事の分担をしよう。
四次	○たんひまカフェの材料を買いに行こう（たんぼぼ・ひまわり 2時間） ・材料を調べよう。 買うものを分担しよう。 材料を買いに行こう。
五次	○第1回 たんひまカフェを開こう（たんぼぼ・ひまわり 5時間） ・招待状を書こう。 お菓子を作ろう。 カフェの準備をしよう。 カフェを開こう。 ・振り返りをして、改善点を見つけよう。 【11月16日（土）実施】

六次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回 たんひまカフェを開こう (たんぼぼ・ひまわり 5時間)</li> <li>・改善点を確認しよう。招待状を書こう。お菓子を作ろう。</li> <li>・カフェの準備をしよう。カフェを開こう。</li> <li>・振り返りをして、改善点を見つけよう。 【11月21日(木)実施】</li> </ul>
七次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第3回 たんひまカフェを開こう (たんぼぼ・ひまわり 6時間)</li> <li>・改善点を確認しよう。招待状を書こう。お菓子を作ろう。</li> <li>・カフェの準備をしよう。カフェを開こう。(本時 22/23)</li> <li>・振り返りをして、改善点を見つけよう。 ・お礼状を書こう</li> </ul>

### 5. 本時の学習 (22/23)

#### ①本時の目標 (個々の目標省略)

#### ②展開

	学 習 活 動	教員の支援 (○T1による支援、●T2による支援)	
開始前	1 始めのあいさつ 活動内容の確認 めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の仕事の分担を確認する</li> <li>○ルーブリック (接客) を見ながら、気をつけることを確認する。 たんひまカフェを たのしんでもらおう</li> </ul>	
10分	2 席に案内する 注文を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○●丁寧な言葉づかいができたときには、その場でほめる。</li> <li>●注文を受ける時の注文用紙に書く場所を示すようにする。</li> </ul>	
15分	3 ケーキセットを運ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食器の向きを確認した後、ゆっくり置くように伝える。</li> <li>○混雑しないように、順番を守って運ぶように声をかける。</li> <li>●注文票に番号を記入して、運ぶ順番を伝える。</li> <li>●困っている児童に手を添えて、一緒に運ぶようにする。</li> </ul>	
10分	4 ケーキの作り方を発表する	●椅子に座って聞くように促す。	○声の大きさ 足の位置などを確認する。
10分	5 レジでお金を受け取る (2か所)	○●言葉の受け答えの例を示す。	●おつりのある場合の受け答えの言葉を確認する。 ○お金の確認を一緒にする。
授業後	6 振り返りをする 次時の確認 おわりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックを見ながら自分はどうだったかを振り返るようにする。</li> <li>・次の時間にすることを確認する。 (動画を見て振り返り、3回目での自分のめあてを決める)</li> </ul>	

#### ③研究の視点

交流の場の設定や接客のルーブリック、お菓子の作り方の発表は、児童が主体的に活動するのに効果的であったか。

#### ④本時の評価規準 (個々のもの省略)